記載例

令和_●● 年分

個別評価申出書

整理簿
※

*

印欄は記入しないでくださ

	課税年分を記入します。
令和_●●年_●	●月_●●日 申出者 住所(所在地)_ ●●市■■町▲▲番●●号 (納税義務者)
	氏名(名称) 大阪 太郎
	納税義務者からの申請に 職業(業種) <u>不動産貸付業</u> 電話番号 <u>00(000)0000</u> 限ります。
	の申告のため、財産評価基準書に「個別評価」と表示されている土地等を 要があるので、次のとおり申し出ます。
1 個別評価を必要とする理由	☑ 相続税申告のため(相続開始年月日 <u>●●</u> 年 <u>8</u> 月 <u>1</u> 日)
	被相続人 住所 ●●市■■町●●番▲▲号
	氏名 <u>国税 花子</u>
当する事業の種類に	にレを付して 職業 会社役員
ださい。 	
2 個別評価をする事業の種類	☑ 土地区画整理事業等 □ 市街地再開発事業
3 個別評価をする土地等の明細	別紙1「個別評価により評価する土地等の所在地、状況等の明細書」のとおり
4 添付書類	別紙2「個別評価に係る添付資料一覧表」のとおり
5 連絡先	〒●●● -●●●●
	住 所■■市▲▲町●●番■■号
	氏 名京都 次郎
	職 業 税理士 電話番号 11 (111) 1111
6 送付先	□ 申出者に送付 回答書の送付先をいずれか指定
i	日管金の大い元をいりました。
	してください。

個別評価により評価する土地等の所在地、状況等の明細書

土地等の所在地	●●市●●町 322 番地 1		●●市●●町 322 番地 3				
(住居表示)		1	●●市●●町	322-3			
	(利用者名)	面積	(利用者名)	面積			
 土地等の利用者名、	□□次郎	m²	□□ 次郎	m^2			
利用状況及び面積	(利用状況)		(利用状況)				
	宅地(自用地)	523	(自用地)	817			
【土地区画整理事業の均	易合】	(従前地の面積を記載し	てください。			
土地区画整理事業名	■■駅前土地区画整理事業						
	平成 ●●年 ●●月		市街地再開発事業の均	温 会け			
仮換地指定の効力発生日	令和		は記載せず、下記【市				
		Ħ (業の場合】欄に記載してください。				
仮換地の使用	有・・ 無 無 (無) ・ (無) ・ (使用収益の開始日)		(使用収益の開始日)				
収益開始の有無	^{平成} 年 月 F	3	平成 年 月	月日			
(仮換地の指定がある場合)	●●市●●町●●駅前土地図	区画整理	●●市●●町●●駅前				
仮換地の角にかのる場合	事業地区51街区3番		事業地区51街区1番				
仮換地の使用収益が	(利用者名)	面積	(利用者名)	面積			
開始されている場合		m²		m ²			
仮換地の利用者名、	(利用状況)		(利用状況)				
利用状況及び面積							
仮換地の使用収益が	(理由)		(理由)				
│ 開始していない場合 丿	造成工事中であり、使用収益開始日未	到来のため	造成工事中であり、使用収益	開始日未到来のため			
使用収益が開始してい	(開始予定年月日)		(開始予定年月日)				
ない理由及び開始予定日	令和 ●●年 10月 10日		令和 ●●年 1	0月 10日			
仮換地の造成工事	工事完了・工事中・未着手		工事完了(工事)	中 未着手			
清算金の有無等	有(無)		有(無)	円			
減 歩 割 合		20 %	<u> </u>	%			
【市街地再開発事業の均	易合】	調	<u>→</u> 関税時期現在の仮換地の	の造成工事			
市街地再開発事業名		σ)状況を記載してくださ 	い。			
権利変換期日	平成 令和 年 月	日	平成 年	月 日			
【その他】							
, to the transfer							
参考事項							

個別評価に係る添付資料一覧表

	仮換地案内(位置図の)			ありなし	□ 一部あり
土地区画整理事業等	仮換地指定通知書の写し又は 仮換地証明書		Ø	あり、なし	一部あり 仮換地の指定が既に行われている
	仮換地指定図の写し		\square	ありなし	場合は、所有者に通知されます。
	仮換地の使用収益開始通知書の 写し			ありなし	□ 一部あり 使用収益開始時期未定
	従前地の物件案内図 (住宅地図等)			ありなし	資料が添付できない場合には、理由
	従前地の公図、実測図		Ø	あり	を記載してください。
	換地重ね図			ないなし	図は法務局で入手できます。
	評価対象土 地が倍率地 域に存する 場合	固定資産税評価証明書		ありなし	□ 一部あり 対象地が路線価地域に存するため
		(評価対象土地が宅地以外の場合) 近傍宅地の1㎡当たりの 固定資産税評価額の表示		ありなし	□ 一部あり (対象地が路線価地域に存するため)
	その他参考資料		写真	冥(令和	□●年●月●日撮影)
市街地再開発事業	土地の物件案内図 (住宅地図等)			ありなし	従前地及び仮換地の写真を可能な 限り添付してください。
	権利変換計画書等			ありなし	なお、写真は対象地の面する道路の 状況が分かるように撮影してくだ さい。
	権利変換期日等の通知書			ありなし	□ 一部あり〔
	権利変換登記後の登記事項証明書等			ありなし	□ 一部あり 〔
	その他参考資料				

個別評価評定担当署一覧

評定担当署	対象地域
〒520-8510 大津市京町3丁目1番1号 大津びわ湖合同庁舎 大津税務署 評価専門官 電話 077-524-1111 (代表)	滋賀県全域
〒602-8555 京都市上京区一条通西洞院東入元真如堂町 358 上京税務署 評価専門官 電話 075-441-9171 (代表)	京都府全域
〒530-8585 大阪市北区南扇町 7 番 13 号 北税務署 評価専門官 電話 06-6313-3371 (代表)	大阪市全域
〒590-8550 堺市堺区南瓦町2番29号 堺地方合同庁舎 堺税務署 評価専門官 電話 072-238-5551 (代表)	大阪府全域(大阪市全域を除く。)
〒650-8511 神戸市中央区中山手通2丁目2番20号 神戸税務署 評価専門官 電話 078-391-7161 (代表)	兵庫県全域
〒630-8567 奈良市登大路町 81 奈良合同庁舎 奈良税務署 評価専門官 電話 0742-26-1201 (代表)	奈良県全域
〒640-8520 和歌山市二番丁3 和歌山地方合同庁舎 和歌山税務署 評価専門官 電話 073-424-2131 (代表)	和歌山県全域

[※] 各税務署の電話は、自動音声によりご案内しますので、問合せをされる場合は「2」を選択してください。